

令和8年9月15日

かほく市議会議長 金子 猛 様

予算決算常任委員会委員長 丸井 一範

令和7年度決算に係る議会による行政評価の結果について

標記の件について、総務建設分科会・教育福祉分科会において審査が終了し、8月27日に開催した予算決算常任委員会において、各分科会長の報告、質疑を経て、議会による行政評価を取りまとめたので報告いたします。

令和 8 年 8 月 2 7 日

予算決算常任委員会

委員長 丸井 一範 様

予算決算常任委員会

総務建設分科会長 池田 義治

議 会 に よ る 行 政 評 価 報 告 書

総務建設分科会における審査が終了しましたので、「令和 7 年度決算に係る議会による行政評価」を添付の上、報告いたします。

記

- 1. 審査期日** : 6 月 18 日 審査対象事業決定
7 月 30 日 現場視察
①県営土地改良事業負担金（多田地内：猿ヶ谷堤）
②普通河川千歩川護岸改修工事（指江地内）
③宇ノ気水辺公園四阿更新工事
④避難所鍵ボックス設置および拠点避難所備蓄倉庫設置（河北台中学校）
⑤中沼配水場浄水施設撤去工事
⑥中沼配水場場内整備工事
7 月 30 日 総務部
（総務課、情報推進課、管財課）
8 月 4 日 産業建設部
（都市建設課、農林水産課、災害復興対策課）
地域政策部
（地域創生課・防災環境対策課）
8 月 5 日 審査対象事業の分科会まとめ
- 2. 審査方法** : すべての事業を審査対象とし、事業の抽出を行い実施した。
審査については〔必要性〕〔妥当性〕〔費用対効果〕〔成果〕を主眼に置き、執行部が作成した資料に基づき行政評価を実施した。

3. 審査結果 : 【個別事業】における今後の方向性について

【個別事業】

○自治振興事業（総務課）

- ・自治活動は、地域コミュニティの維持や災害時の共助の観点から重要であり、引き続き積極的な支援を求める。
- ・町会区の規模による活動格差が生じないように配慮するとともに、集会施設の環境整備については、地域全体に行き渡るよう計画的に取り組むべきである。

○ふるさと納税寄附金事業（総務課）

- ・返礼品やポータルサイトの充実などにより寄附額が増加していることを評価する。今後も事業者との連携を強化し、返礼品の充実や利益率の確保に努め、さらなる自主財源の確保につながる取組を期待する。
- ・ふるさと納税制度を取り巻く状況を注視しながら、効果的な事業運営に努めるべきである。

○行政デジタル化推進事業（情報推進課）

- ・行政デジタル化は、市民サービスの向上や業務の効率化を図る上で重要な取組であり、AI の活用やシステム標準化を着実に進めるとともに、導入した機器を十分に活用し、更なる業務改善に取り組むべきである。
- ・サイバーセキュリティ対策や災害時におけるシステム障害への備えについても万全を期するべきである。

○庁舎維持管理事業（管財課）

- ・庁舎の長寿命化を見据え、引き続き計画的な維持管理に努めるとともに、省エネルギー対策や維持管理コストの縮減に向けた工夫を継続していくべきである。
- ・事業の効果が分かりやすく伝わるよう、維持管理に係る取組や成果についても丁寧な説明を求める。

○道路橋りょう維持管理事業（都市建設課）

- ・道路や橋梁は市民生活に欠かせない重要なインフラであり、引き続き計画的な維持管理を進め、安全性の確保に努めていくべきである。
- ・災害復旧や老朽化対策、道路区画線の補修など、市民要望を踏まえた整備を継続することを求める。

○除雪対策事業（都市建設課）

- ・GPS を活用した除雪情報システムは、市民の利便性向上につながるものであり、さらなる活用を期待する。
- ・除雪品質の向上や事業者への適切な指導を進めるとともに、歩道除雪や地域ボランティアの担い手不足への対応を検討していくべきである。

○消雪維持管理事業（都市建設課）

- ・積雪時の安全な交通確保のため、消雪設備の計画的な更新と適切な維持管理を継続していくべきである。
- ・交通量や道路状況を踏まえ、必要な箇所への整備についても検討を求める。

○担い手育成基盤整備事業（農林水産課）

- ・農業従事者の高齢化や担い手不足が進む中、ほ場整備による農地の集積・集約化や作業効率の向上を着実に進めるべきである。
- ・引き続き、将来を見据えた担い手の確保・育成に取り組むことを求める。

○大海交流センター維持管理事業（農林水産課）

- ・地域住民にとって重要な交流拠点であり、計画的な維持管理を継続していくべきである。
- ・施設の管理体制や所管課については、より効率的な運営となるよう検討を求める。

○道路橋りょう災害復旧事業（繰越分）（災害復興対策課）

- ・受注業者不足などの課題はあるものの、計画的な発注や関係事業との調整を図りながら、早期の復旧・復興に向け着実に事業を進めるべきである。

○定住促進事業（地域創生課）

- ・人口増加の成果を維持するため、物価高騰や住宅ニーズの変化を踏まえた制度の見直しを継続していくべきである。
- ・空き家の活用や住み続けたいと思えるまちづくりを推進し、さらなる定住促進を期待する。

○環境保全対策事業（防災環境対策課）

- ・空き家対策は今後ますます重要となることから、管理や利活用、除却支援など総合的な対策を進めていくべきである。
- ・市民ニーズを踏まえた新たな施策の検討を求める。

○カーボンニュートラル推進事業（防災環境対策課）

- ・地球温暖化対策の推進は重要であり、引き続き着実に取り組むべきである。
- ・事業の効果や目標達成状況について、市民にも分かりやすい情報提供に努めることを求める。

○ごみ減量化推進事業（防災環境対策課）

- ・ごみの減量化と資源化を引き続き推進するとともに、びん回収など地域課題への対応を検討するよう求める。
- ・ごみの収集・運搬方法については、町会区と十分に協議しながら、地域の実情に

応じたより良い方法となることを期待する。

○塵芥収集事業（防災環境対策課）

- ・市民生活に欠かせない事業であり、安定した収集体制を維持するとともに、効率的な事業運営に努めていくべきである。
- ・資源物の回収についても、市民ニーズを踏まえた工夫を期待する。

4. まとめ

総務建設分科会では、自治活動、行政デジタル化、道路・除雪対策、農業振興、定住促進、環境・ごみ対策、災害復旧など、市民生活に直結する幅広い事業について審査を行った。これまでの取り組みや成果を評価するとともに、今後の課題について確認したところである。

行政デジタル化については、生成A I等の活用による市民サービスの向上や行政事務の効率化を進めるとともに、セキュリティ対策や災害時のシステム障害への備えを求める。

道路・除雪・消雪対策については、安全な市民生活を確保するため、施設の計画的な維持管理・更新を進めるとともに、GPS等のデジタル技術の活用や担い手不足への対応を期待する。

農業については、担い手不足や高齢化が課題となっていることから、ほ場整備や機械・ドローン等の活用による効率化を進め、将来の担い手の確保・育成に取り組むことを求める。

定住促進については、人口増加の成果を維持しながら、住宅ニーズや社会情勢の変化に応じた制度の見直し、空き家の利活用などを進め、住み続けたいと思えるまちづくりを期待する。

環境・ごみ対策については、空き家対策、カーボンニュートラル、ごみの減量化・資源化を着実に進めるとともに、市民ニーズや地域の実情を踏まえた取り組みを求める。

最後に、限られた財源や人材を有効に活用し、関係機関や地域との連携を図りながら、社会情勢や市民ニーズの変化に柔軟に対応し、各種事業のさらなる充実と課題解決に取り組むことを期待する。

以上

予算決算常任委員会 総務建設分科会
《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

審査対象事業

No.	担当課	事業 番号	事業名	全体評価 合計	今後の方向性
1	総務課	40	自治振興事業	85	現状のまま継続する
2	総務課	41	ふるさと納税寄附金事業	85	現状のまま継続する
3	情報推進課	31	行政デジタル化推進事業	80	拡充する
4	管財課	19	庁舎維持管理事業	80	現状のまま継続する
5	都市建設課	192	道路橋りょう維持管理事業	80	現状のまま継続する
6	都市建設課	193	除雪対策事業	85	現状のまま継続する
7	都市建設課	194	消雪維持管理事業	85	現状のまま継続する
8	農林水産課	163	担い手育成基盤整備事業	75	現状のまま継続する
9	農林水産課	174	大海交流センター維持管理事業	80	改善し継続する
10	災害復興対策課	308	道路橋りょう災害復旧事業（繰越分）	85	現状のまま継続する
11	地域創生課	28	定住促進事業	80	現状のまま継続する
12	防災環境対策課	139	環境保全対策事業	85	現状のまま継続する
13	防災環境対策課	141	カーボンニュートラル推進事業	85	現状のまま継続する
14	防災環境対策課	142	ごみ減量化推進事業	85	改善し継続する
15	防災環境対策課	143	塵芥収集事業	85	現状のまま継続する

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
1	総務課	自治振興事業	—	40

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・町会区への謝礼金について、均等割と世帯数割により算出されており、合併当初から金額の見直しは行っていないことを確認した。 ・人口増加地区と減少地区における支援については、財政規模の違いがある中で、不公平が生じないように算出方法を工夫していることを確認した。 ・町会区の統廃合については、行政主導ではなく、地域住民の合意に基づき進められていることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・自治活動は、地域コミュニティの維持や災害時の共助の観点から重要であり、引き続き積極的な支援を求める。 ・町会区の規模による活動格差が生じないように配慮するとともに、集会施設の環境整備については、地域全体に行き渡るよう計画的に取り組むべきである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
2	総務課	ふるさと納税寄附金事業	75	41

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・ふるさと納税ポータルサイトの手数料について、利用するサイトにより異なることや、経費率を踏まえながら運営していることを確認した。 ・総務省が示す「寄付額の6割以上を自治体に残す」基準への対応状況について確認した。 ・ふるさと納税による住民税減収分は、地方交付税により一定の財政措置が講じられていることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・返礼品やポータルサイトの充実などにより寄附額が増加していることを評価する。今後も事業者との連携を強化し、返礼品の充実や利益率の確保に努め、さらなる自主財源の確保につながる取組を期待する。 ・ふるさと納税制度を取り巻く状況を注視しながら、効果的な事業運営に努めるべきである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
3	情報推進課	行政デジタル化推進事業	85	31

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・生成A I の活用方法について、内容を十分に検証しながら業務に活用していることを確認した。 ・生成A I 「QommonsAI」の導入経緯や選定理由について確認した。 ・基幹業務システムの標準化について、令和10年1月の稼働に向けた進捗状況を確認した。 ・生成A I については、広報業務や文書作成支援、情報検索など、業務効率化に活用していることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
6	6 拡充する	・行政デジタル化は、市民サービスの向上や業務の効率化を図る上で重要な取組であり、A I の活用やシステム標準化を着実に進めるとともに、導入した機器を十分に活用し、更なる業務改善に取り組むべきである。 ・サイバーセキュリティ対策や災害時におけるシステム障害への備えについても万全を期するべきである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
拡充する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
4	管財課	庁舎維持管理事業	—	19

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・庁舎に設置している太陽光発電設備は、防災用電源として蓄電池とともに活用していることを確認した。 ・電気使用料について、空調設備の運用方法の工夫などにより、前年度より削減されていることを確認した。 ・庁舎の維持管理について、省エネルギー対策や職員の執務環境に配慮しながら取り組んでいることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・庁舎の長寿命化を見据え、引き続き計画的な維持管理に努めるとともに、省エネルギー対策や維持管理コストの縮減に向けた工夫を継続していくべきである。 ・事業の効果が分かりやすく伝わるよう、維持管理に係る取組や成果についても丁寧な説明を求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
5	都市建設課	道路橋りょう維持管理事業	—	192

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	15	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・内日角1号線や高松地区グリーンベルトの整備箇所について確認した。 ・消雪設備の設置基準について、交通量や道路状況を踏まえ個別に判断していることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・道路や橋梁は市民生活に欠かせない重要なインフラであり、引き続き計画的な維持管理を進め、安全性の確保に努めていくべきである。 ・災害復旧や老朽化対策、道路区画線の補修など、市民要望を踏まえた整備を継続することを求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
6	都市建設課	除雪対策事業	—	193

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・GPSを活用した除雪車の運行管理や除雪状況の公開について確認した。 ・除雪路線の選定や新設道路、位置指定道路等の除雪対応について確認した。 ・倒木の原因や民有地における除雪対応について確認した。 ・町会等による歩道除雪や除雪ボランティアへの支援状況を確認し、担い手不足への対応を検討する必要がある。 ・除雪業務の品質向上や苦情対応について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・GPSを活用した除雪情報システムは、市民の利便性向上につながるものであり、さらなる活用を期待する。 ・除雪品質の向上や事業者への適切な指導を進めるとともに、歩道除雪や地域ボランティアの担い手不足への対応を検討していくべきである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
7	都市建設課	消雪維持管理事業	—	194

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・消雪施設の更新時期や井戸施設の維持管理状況について確認した。 ・断水時における井戸設備の活用体制について確認した。 ・消雪ノズルの改修や散水に関する苦情対応について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・積雪時の安全な交通確保のため、消雪設備の計画的な更新と適切な維持管理を継続していくべきである。 ・交通量や道路状況を踏まえ、必要な箇所への整備についても検討を求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
8	農林水産課	担い手育成基盤整備事業	70	163

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	15	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	75
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・入札不調や事故繰越の要因について、受注過多や資材・残土処理の影響によるものであることを確認した。 ・ほ場整備の進展に伴う集落営農組合の高齢化や将来的な担い手不足について確認した。 ・ほ場整備による大型機械の導入やドローン活用への支援制度について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・農業従事者の高齢化や担い手不足が進む中、ほ場整備による農地の集積・集約化や作業効率の向上を着実に進めるべきである。 ・引き続き、将来を見据えた担い手の確保・育成に取り組むことを求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
9	農林水産課	大海交流センター維持管理事業	—	174

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・施設を農林水産課が所管している経緯について確認した。 ・施設の管理体制や所管課変更の考え方について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	・地域住民にとって重要な交流拠点であり、計画的な維持管理を継続していくべきである。 ・施設の管理体制や所管課については、より効率的な運営となるよう検討を求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
改善し継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
10	災害復興対策課	道路橋りょう災害復旧事業（繰越分）	—	308

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・事業費増加について、能登半島地震の影響によるものであることを確認した。 ・未完了地区の復旧状況や下水道工事との調整状況について確認した。 ・工事事業者の受注状況や人手不足が復旧事業へ影響していることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・受注業者不足などの課題はあるものの、計画的な発注や関係事業との調整を図りながら、早期の復旧・復興に向け着実に事業を進めるべきである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
11	地域創生課	定住促進事業	85	28

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・定住促進施策について、物価高騰等を踏まえ中古住宅補助制度を見直したことを確認した。 ・空き家バンクの登録状況や奨励金制度について確認するとともに、関係部署と連携した空き家活用を進めることを確認した。 ・移住支援補助金やU I J ターン住まい補助金の対象要件について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・人口増加の成果を維持するため、物価高騰や住宅ニーズの変化を踏まえた制度の見直しを継続していくべきである。 ・空き家の活用や住み続けたいと思えるまちづくりを推進し、さらなる定住促進を期待する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
12	防災環境対策課	環境保全対策事業	—	139

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・空き家の流通促進に向けた管理制度や空き家対策計画の策定について確認した。 ・空き家改修支援補助金や除却補助制度の内容について確認した。 ・海浜ごみの増加状況について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・空き家対策は今後ますます重要となることから、管理や利活用、除却支援など総合的な対策を進めていくべきである。 ・市民ニーズを踏まえた新たな施策の検討を求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
13	防災環境対策課	カーボンニュートラル推進事業	80	141

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・省エネ診断受診料補助金の内容や補助上限額について確認した。 ・温室効果ガス排出削減目標の達成状況や再生可能エネルギー設備への補助実績について確認した。 ・二重サッシへの補助制度や補助実績の把握状況について確認した。 ・事業費増加について、事業者向け太陽光発電設備補助金の増額によるものであることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・地球温暖化対策の推進は重要であり、引き続き着実に取り組むべきである。 ・事業の効果や目標達成状況について、市民にも分かりやすい情報提供に努めることを求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
14	防災環境対策課	ごみ減量化推進事業	90	142

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・びん回収の要望への対応について確認した。 ・資源回収の現状や町会区による資源回収事業の継続について確認した。 ・ごみステーション化の進捗状況や個別収集地区の対応について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	・ごみの減量化と資源化を引き続き推進するとともに、びん回収など地域課題への対応を検討するよう求める。 ・ごみの収集・運搬方法については、町会区と十分に協議しながら、地域の実情に応じたより良い方法となることを期待する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
改善し継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
15	防災環境対策課	塵芥収集事業	75	143

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・財源内訳の「その他」について、ごみ収集協力金や資源物売却収益等で構成されていることを確認した。 ・河北郡市広域事務組合における売電収益については、本事業には含まれていないことを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・市民生活に欠かせない事業であり、安定した収集体制を維持するとともに、効率的な事業運営に努めていくべきである。 ・資源物の回収についても、市民ニーズを踏まえた工夫を期待する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

令和8年8月27日

予算決算常任委員会

委員長 丸井 一範 様

予算決算常任委員会

教育福祉分科会長 中川 康弘

議 会 に よ る 行 政 評 価 報 告 書

教育福祉分科会における審査が終了しましたので、「令和7年度決算に係る議会による行政評価」を添付の上、報告いたします。

記

- 1. 審査期日** : 6月19日 審査対象事業決定
8月17日 現場視察
① 高松老人福祉センター（風呂）
② 七塚健康福祉センター（風呂）
③ 宇ノ気老人福祉センター（風呂）
④ 消防本部庁舎水回り改修工事
⑤ 七塚生涯学習センター長寿寿命化工事
⑥ ほのぼの健康館長寿寿命化工事
8月17日 健康福祉部
(長寿介護課・健康福祉課・保険医療課・こども家庭課)
8月18日 消防本部
(消防課)
教育部
(学校教育課、生涯学習課、スポーツ文化課)
8月19日 審査対象事業の分科会まとめ
- 2. 審査方法** : すべての事業を審査対象とし、事業の抽出を行い実施した。
審査については〔必要性〕〔妥当性〕〔費用対効果〕〔成果〕を主眼に置き、執行部が作成した資料に基づき行政評価を実施した。

3. 審査結果 : 【個別事業】における今後の方向性について

【個別事業】

○高齢者等地域支え合い事業（長寿介護課）

- ・高齢者やその家族にとって必要な生活支援サービスであることから、引き続き継続を期待する。
- ・対象者や関係者への周知を強化するとともに、介護認定の基準や見守りサービスの拡充、緊急通報サービスのあり方についても検討すべきである。

○老人福祉施設管理費（長寿介護課）

- ・高齢者の健康維持や交流の場として必要な施設であることから、入浴事業は継続すべきである。
- ・施設の老朽化や利用者の減少も見込まれることから、統合や建て替えなど将来的な施設のあり方について検討すべきである。

○福祉巡回バス事業（健康福祉課）

- ・高齢者等の移動手段として必要な事業であることから、引き続き継続を期待する。
- ・利用者の減少や運行ルート等の課題を踏まえ、他自治体の事例も参考にしながら、オンデマンド交通や乗り合いバスなど、より効率的で利用しやすい運行について検討すべきである。

○福祉タクシー利用助成事業（健康福祉課）

- ・移動手段の確保として有意義な事業であることから、引き続き継続を期待する。
- ・利用者が少ない状況も踏まえ、タクシー券の使い方を柔軟にするなど、より利用しやすい制度への改善を検討するとともに、知的・精神障害者への配慮についても検討すべきである。

○障害児発達支援事業（健康福祉課）

- ・障害児とその家族を支える大切な事業であることから、引き続き継続を期待する。
- ・利用者の増加に対応できるよう、放課後等デイサービスなどの受け皿の確保を進めるとともに、周辺自治体との連携を拡充し、必要な支援を提供すべきである。

○おくやみワンストップ事業（保険医療課）

- ・市民からも好評で、手続きの負担軽減につながっている事業であることから、引き続き継続を期待する。
- ・今後も市民への周知を図るとともに、予約等への電子申請の導入など、さらなる利便性の向上を検討すべきである。

○子ども・子育て支援事業（こども家庭課）

- ・子育て世帯への支援が充実しており、移住・定住の面からも重要な事業であることから、引き続き継続を期待する。

- ・全国的に保育士の確保が難しい状況にあることから、保育士の確保や処遇改善、職場環境の改善に引き続き取り組むことを求める。

○学童保育クラブ一般管理費（こども家庭課）

- ・共働き世帯が増加する中、子育て世帯にとって必要不可欠な事業であり、施設の充実も進んでいることから、引き続き継続を期待する。
- ・利用者の増加を見据えた施設や職員の確保に努めるとともに、保育料についても適正な水準を検討すべきである。

○消防施設管理事業（消防課）

- ・市民の安全・安心を守るために必要不可欠な事業であることから、引き続き適切な施設の維持管理を期待する。
- ・消防施設の老朽化への対応や建て替えについて計画的に検討するとともに、2市2町による広域的な消防体制及び消防水利の確保を引き続き進めるべきである。

○スクールバス運行事業（学校教育課）

- ・児童・生徒の安全な通学を確保するために必要な事業であり、引き続き継続を期待する。
- ・今後の児童・生徒数の変化や運行区域の拡大、地域クラブ活動への対応を見据えるとともに、運転手の高齢化や人材不足への対策を講じ、安全確保に万全を期すべきである。

○部活動・地域クラブ活動推進事業（学校教育課）

- ・部活動の地域展開が進む中、指導者の確保や生徒の移動など、様々な課題があることから、引き続き課題の整理と対応を進めるべきである。
- ・部活動や地域クラブに参加していない生徒についても、創作活動やボランティアなど、多様な活動や居場所を選択できる環境づくりを期待する。

○学校を核とした地域力活性化事業（学校教育課）

- ・学校と地域との連携を深め、子どもたちの学びや地域との交流につながる重要な取り組みであることから、引き続き継続を期待する。
- ・各学校の特色ある取り組みをさらに充実させるとともに、コミュニティ・スクールコーディネーターの活動を含め、市民への周知・広報を強化すべきである。

○図書館管理運営事業（生涯学習課）

- ・市民の学びや交流、居場所として必要な施設であることから、引き続き継続を期待する。
- ・電子図書を含めた図書館サービスの充実を図るとともに、より多くの市民に利用してもらえるような取り組みを進めるべきである。
- ・カフェなど、市民がより利用しやすい環境についても検討すべきである。

○男女共同参画社会推進事業（生涯学習課）

- ・男女共同参画の意識を高めるため、引き続き継続して取り組むべきである。
- ・事業内容や具体的な成果が市民から見えにくいとの意見もあることから、取り組みの周知を強化するとともに、参加者アンケート等を活用して成果を検証し、具体的な成果が見える事業展開を期待する。

○文化財保護事業（スポーツ文化課）

- ・文化財を後世に引き継ぐために重要な事業であり、デジタルアーカイブの取り組みも評価できることから、引き続き継続・充実を期待する。
- ・文化財の展示方法やデジタルアーカイブの活用について工夫するとともに、市民に文化財の価値を知ってもらえるよう、さらなる周知・活用を進めるべきである。

4. まとめ

教育福祉分科会では、高齢者福祉、障害者支援、子育て支援、学校教育、生涯学習、文化振興など、市民生活に直結する幅広い事業について審査を行った。これまでの取り組みや成果を評価するとともに、今後の課題について確認したところである。

高齢者福祉施策については、生活支援サービスや移動手段の確保がますます重要となっている。対象者への周知強化や利用しやすい制度への改善を求める。老人福祉施設については、将来的な施設のあり方について計画的に検討することを求める。

子育て支援施策については、こども園、学童保育クラブの運営により、子育て世帯への支援が充実している。保育士などの人的確保が喫緊の課題であり、保護者対応や事務をこなす人的配置を検討し、労働環境の改善を期待する。

学校教育関連事業での、スクールバス運行については、児童数の変化や運転手の人材不足への対策を講じ、安全確保に万全を期するべきである。部活動の地域展開については、指導者の確保や生徒の移動、部活動に参加していない生徒対応など課題の整理や環境づくりを期待する。学校を核とした地域力活性化については、特色ある取り組みをさらに充実させるとともに、周知・広報を強化すべきである。

生涯学習、文化振興関連事業では、電子図書やカフェ設置など図書館サービスの充実による利用しやすい環境の検討、男女共同参画社会推進における成果の見える化と周知強化、文化財のデジタルアーカイブ等を活用した文化的価値の周知と利活用の促進を期待する。

最後に、引き続き各種事業の創意工夫に期待するとともに、市民ニーズもとらえて課題解決に向けた取り組みを検討するなど、時代に即した柔軟な発想と積極的な対応に期待する。

以上

予算決算常任委員会 教育福祉分科会
《令和7年度決算に係る議会による行政評価》
審査対象事業

No.	担当課	事業 番号	事業名	全体評価 合計	今後の方向性
1	長寿介護課	89	高齢者等地域支え合い事業	80	現状のまま継続する
2	長寿介護課	91	老人福祉施設管理費	70	改善し継続する
3	健康福祉課	72	福祉巡回バス事業	70	改善し継続する
4	健康福祉課	79	福祉タクシー利用助成事業	70	改善し継続する
5	健康福祉課	84	障害児発達支援事業	80	現状のまま継続する
6	保険医療課	74	おくやみワンストップ事業	80	現状のまま継続する
7	こども家庭課	108	子ども・子育て支援事業	80	現状のまま継続する
8	こども家庭課	118	学童保育クラブ一般管理費	85	現状のまま継続する
9	消防課	211	消防施設管理事業	80	現状のまま継続する
10	学校教育課	229	スクールバス運行事業	80	現状のまま継続する
11	学校教育課	260	部活動・地域クラブ活動推進事業	75	現状のまま継続する
12	学校教育課	281	学校を核とした地域力活性化事業	75	改善し継続する
13	生涯学習課	274	図書館管理運営事業	80	現状のまま継続する
14	生涯学習課	280	男女共同参画社会推進事業	60	現状のまま継続する
15	スポーツ文化課	285	文化財保護事業	80	現状のまま継続する

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
1	長寿介護課	高齢者等地域支え合い事業	80	89

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
- 各種サービスの対象者数及び利用割合について確認した。 - 制度の周知について、関係者への周知を図っていくことを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	- 高齢者やその家族にとって必要な生活支援サービスであることから、引き続き継続を期待する。 - 対象者や関係者への周知を強化するとともに、介護認定の基準や見守りサービスの拡充、緊急通報サービスのあり方についても検討すべきである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
2	長寿介護課	老人福祉施設管理費	—	91

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	70
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・老人センターの利用者数及び交通手段について確認した。 ・施設ごとに浴場の規模が異なることから、施設の統合や浴場の拡充について、課題を整理していくことを確認した。 ・施設の利用対象者及び老人クラブ等への貸し出しについて確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	・高齢者の健康維持や交流の場として必要な施設であることから、入浴事業は継続すべきである。 ・施設の老朽化や利用者の減少も見込まれることから、統合や建て替えなど将来的な施設のあり方について検討すべきである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
改善し継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
3	健康福祉課	福祉巡回バス事業	—	72

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	70
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・利用者数の推移及び利用者の状況について確認した。 ・車を持たない高齢者や障害者の利用が多いことを確認した。 ・利用状況や地区からの要望を踏まえた運行について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	・高齢者等の移動手段として必要な事業であることから、引き続き継続を期待する。 ・利用者の減少や運行ルート等の課題を踏まえ、他自治体の事例も参考にしながら、オンデマンド交通や乗り合いバスなど、より効率的で利用しやすい運行について検討すべきである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
改善し継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
4	健康福祉課	福祉タクシー利用助成事業	85	79

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	70
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
- 福祉タクシーの利用状況について確認した。 - 身体障害者だけでなく、精神・知的障害者を含めた移動支援について確認した。 - 助成額や利用枚数の拡充について検討の余地があることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	- 移動手段の確保として有意義な事業であることから、引き続き継続を期待する。 - 利用者が少ない状況も踏まえ、タクシー券の使い方を柔軟にするなど、より利用しやすい制度への改善を検討するとともに、知的・精神障害者への配慮についても検討すべきである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
改善し継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
5	健康福祉課	障害児発達支援事業	—	84

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・ 障害児通所給付費の対象者数及び対象者の把握方法について確認した。 ・ 市による指導監査が可能であることを確認した。 ・ 市内の事業所の受け入れ状況及び今後の施設確保について確認した。 ・ 放課後等デイサービスと学童保育クラブの利用について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・ 障害児とその家族を支える大切な事業であることから、引き続き継続を期待する。 ・ 利用者の増加に対応できるよう、放課後等デイサービスなどの受け皿の確保を進めるとともに、周辺自治体との連携を拡充し、必要な支援を提供すべきである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
6	保険医療課	おくやみワンストップ事業	—	74

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・おくやみワンストップ事業の利用状況について確認し、予約の有無を含め98.6%の方が利用していることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・市民からも好評で、手続きの負担軽減につながっている事業であることから、引き続き継続を期待する。 ・今後も市民への周知を図るとともに、予約等への電子申請の導入など、さらなる利便性の向上を検討すべきである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
7	こども家庭課	子ども・子育て支援事業	—	108

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・公立・私立こども園の利用児童数及び待機児童数について確認した。 ・公立園における保育士の必要数及び確保状況について確認した。 ・保育士の確保に向けた学校訪問、県の紹介サービス、ハローワーク等の取り組みについて確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・子育て世帯への支援が充実しており、移住・定住の面からも重要な事業であることから、引き続き継続を期待する。 ・全国的に保育士の確保が難しい状況にあることから、保育士の確保や処遇改善、職場環境の改善に引き続き取り組むことを求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
8	こども家庭課	学童保育クラブ一般管理費	80	118

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・学童保育クラブの利用者数及び利用状況について確認した。 ・小学校5・6年生の利用が増加していることを確認した。 ・保育料について、他自治体との比較を含め確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・共働き世帯が増加する中、子育て世帯にとって必要不可欠な事業であり、施設の充実も進んでいることから、引き続き継続を期待する。 ・利用者の増加を見据えた施設や職員の確保に努めるとともに、保育料についても適正な水準を検討すべきである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
9	消防課	消防施設管理事業	—	211

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・2市2町消防通信指令事務協議会負担金の算出方法について確認した。 ・消火栓の新設について、消防の整備指針や地区からの要望を踏まえ、計画的に整備していることを確認した。 ・私有地の防火水槽について、周辺の水利を確認したうえで撤去していることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・市民の安全・安心を守るために必要不可欠な事業であることから、引き続き適切な施設の維持管理を期待する。 ・消防施設の老朽化への対応や建て替えについて計画的に検討するとともに、2市2町による広域的な消防体制及び消防水利の確保を引き続き進めるべきである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
10	学校教育課	スクールバス運行事業	—	229

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・スクールバスの利用状況及び運行区域について確認した。 ・児童数の増加等を踏まえ、運行区域の変更・拡大について検討していくことを確認した。 ・運転手の高齢化及び人材確保について確認した。 ・地域クラブ活動への対応について、学校送迎を優先し、必要に応じて民間バスを活用していることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・児童・生徒の安全な通学を確保するために必要な事業であり、引き続き継続を期待する。 ・今後の児童・生徒数の変化や運行区域の拡大、地域クラブ活動への対応を見据えるとともに、運転手の高齢化や人材不足への対策を講じ、安全確保に万全を期するべきである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
11	学校教育課	部活動・地域クラブ活動推進事業	—	260

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	15	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	75
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・部活動無所属の生徒の割合について確認した。 ・外部のスポーツクラブ等に所属している生徒は含まれていないため、実際に何も活動していない生徒の割合は35%より低くなることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・部活動の地域展開が進む中、指導者の確保や生徒の移動など、様々な課題があることから、引き続き課題の整理と対応を進めるべきである。 ・部活動や地域クラブに参加していない生徒についても、創作活動やボランティアなど、多様な活動や居場所を選択できる環境づくりを期待する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
12	学校教育課	学校を核とした地域力活性化事業	75	281

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	15	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	75
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・コミュニティ・スクールプラン補助金を活用した各学校の具体的な取り組みについて確認した。 ・地域の特色を生かした様々な活動が行われていることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	・学校と地域との連携を深め、子どもたちの学びや地域との交流につながる重要な取り組みであることから、引き続き継続を期待する。 ・各学校の特色ある取り組みをさらに充実させるとともに、コミュニティ・スクールコーディネーターの活動を含め、市民への周知・広報を強化すべきである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
改善し継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
13	生涯学習課	図書館管理運営事業	80	274

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・図書館利用者の年齢構成及び時間帯による利用状況について確認した。 ・高松産業文化センター図書室の利用状況について確認した。 ・飲食スペース等の設置について、今後検討していくことを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・市民の学びや交流、居場所として必要な施設であることから、引き続き継続を期待する。 ・電子図書を含めた図書館サービスの充実を図るとともに、より多くの市民に利用してもらえるような取り組みを進めるべきである。 ・カフェなど、市民がより利用しやすい環境についても検討すべきである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
14	生涯学習課	男女共同参画社会推進事業	—	280

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	15	15	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	60
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・男女共同参画審議会の委員構成について確認した。 ・第3次かほく市男女共同参画行動計画の策定に向けた審議状況について確認した。 ・中小企業における男性の育児休業取得への支援について意見が出ていることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・男女共同参画の意識を高めるため、引き続き継続して取り組むべきである。 ・事業内容や具体的な成果が市民から見えにくいとの意見もあることから、取り組みの周知を強化するとともに、参加者アンケート等を活用して成果を検証し、具体的な成果が見える事業展開を期待する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和7年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
15	スポーツ文化課	文化財保護事業	—	285

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・文化財のデジタルアーカイブ化の取り組み及び公開状況について確認した。 ・デジタルアーカイブの閲覧数が目標を上回っていることを確認した。 ・大海西山弥生の里や上山田貝塚の維持管理について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	・文化財を後世に引き継ぐために重要な事業であり、デジタルアーカイブの取り組みも評価できることから、引き続き継続・充実を期待する。 ・文化財の展示方法やデジタルアーカイブの活用について工夫するとともに、市民に文化財の価値を知ってもらえるよう、さらなる周知・活用を進めるべきである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		